

(2014年度)

1 日本史問題 (60分)

(この問題冊子は19ページ，4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，監督から指示があったら，解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し，所定の欄に氏名を記入すること。次に，解答用紙の右側のミシン目にそって，きれいに折り曲げてから，受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し，机上に置くこと。
3. 監督から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能，計算機能，辞書機能などを使用してはならない。
5. 解答は解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけてはならない。
7. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
9. 試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 次の文章は日本の旧石器時代から古墳時代に至る、21件の遺跡(A～U)について述べたものである。各文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

- A 固有土器以外に、他の遺跡でも出土し、時代判定の手掛かりとなる夜臼式土器も伴出することで知られる。(縄文～弥生時代が中心。以下、「時代が中心」を略す)
- B 時代中期の大集落遺跡で、この発掘により旧来の縄文時代についての研究は再検討を迫られるに至った。(縄文)
- C 1943年に発見され、世紀中頃の調査で、この時代に大規模な水田耕作が行われていたことを確認することができた。(弥生)
- D 弥生人の墳墓址で、300を超える遺体の多くは屈葬で埋葬され、戦闘で傷を受けたらしい人物も確認されている。(弥生)
- E 物見櫓も設置されていたとされる大環濠集落址として著名。集落の存在が長期間にわたることも確認される。(弥生)
- F ローム層中で石器(片)が発見され、この時代研究の契機となった。(旧石器)
- G 時代中期の環濠集落で、内側に竪穴住居群と倉庫、環濠の外側には土塁を設けた。また、近くには方形周溝墓群で知られる他の遺跡もあり、当時の状況が窺える。(弥生)
- H この時代の高地性集落遺跡の代表格で、住居址の確認はできていないが大量の出土遺物により集落の存在が窺える。(弥生)
- I 1960年代の調査で、この時期の資料である握槌や石核を発見。この時代に関する知見が深まった。(旧石器～縄文)
- J 20世紀末に40個近くの銅鐸が発見されたことで知られ、この地域の歴史的重要性が再確認されるに至った。(弥生)
- K 近隣の古墳の存在と相まって、邪馬台国の位置を特定するカギになると考える研究者もいる、大規模土木工事も確認される遺跡。(古墳)
- L 色々な型式をもつ縄文土器が出土しているが、磨消縄文を持つものが特徴とされる。(縄文)
- M 2市にまたがる大環濠集落址。住居や大規模な建造物群址の他、多数の遺物

や方形周溝墓等も確認されている。(弥生)

N 日本最大級の環濠集落址として知られ、木製農具や植物性遺物、高床建築物や線刻土器の存在も確認された。(弥生)

O 大阪の牟礼遺跡と並んで縄文時代末期の可能性もある水田址の他、住居や墳墓の存在も知られる。(縄文～弥生)

P 台地上に展開する遺跡で、数十軒分の竪穴住居址の発掘により、縄文早期に定住性のある集落の存在が確認された。(縄文)

Q 弥生前期とみられるこの地域最古の水田址で、垂柳遺跡などの先駆と考えられている。(弥生)

R 竪穴住居址や水田址、木製農具や建築材、容器類などの出土で知られる。(弥生～古墳)

S 5～6世紀の大規模倉庫群址およびその後の建築物遺構で知られ、当時の政治勢力について考える手掛かりとして期待されている。(古墳)

T 1980年代に、銅剣・銅鐸・銅矛の三種の青銅器がまとめて出土したことで知られる。(弥生)

U この時期の代表的な支石墓遺構の存在で知られ、多くの甕棺と併せて確認されている。(縄文～弥生)

問1 上記の各遺跡A～Uについて、遺跡名を下記の語群Iから、その所在地の都道府県名を語群IIから選びなさい。所在地については、同じ選択肢を何回選んでもよい。

[語群I]

- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| ① 吉野ヶ里 | ② 早水台 | ③ 菜畑 | ④ 上野原 |
| ⑤ 纏向 | ⑥ 荒神谷 | ⑦ 砂沢 | ⑧ 唐子・鍵 |
| ⑨ 須玖 | ⑩ 法円坂 | ⑪ 亀ヶ岡 | ⑫ 三内丸山 |
| ⑬ 池上曾根 | ⑭ 山木 | ⑮ 大塚 | ⑯ 加茂岩倉 |
| ⑰ 岩宿 | ⑱ 紫雲出山 | ⑲ 登呂 | ⑳ 板付 |
| ㉑ 土井ヶ浜 | | | |

〔語群Ⅱ〕

- ① 北海道 ② 青森 ③ 宮城 ④ 茨城 ⑤ 群馬
⑥ 埼玉 ⑦ 千葉 ⑧ 東京 ⑨ 神奈川 ⑩ 山梨
⑪ 静岡 ⑫ 奈良 ⑬ 京都 ⑭ 大阪 ⑮ 島根
⑯ 山口 ⑰ 香川 ⑱ 福岡 ⑲ 大分 ⑳ 佐賀
㉑ 鹿児島

問2 前記の各遺跡に関連する以下の問いに答えなさい。

(1) 遺跡Kにある、卑弥呼の墓とも考えられる古墳として、もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 藤ノ木古墳 ② 大仙陵古墳 ③ 応神天皇陵 ④ 虎塚古墳
⑤ 稻荷山古墳 ⑥ 箸墓古墳

(2) 設問(1)の古墳の種類として、もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 円墳 ② 方墳 ③ 上円下方墳 ④ 前方後円墳
⑤ 前方後方墳 ⑥ 楯築墳

(3) 縄文時代から弥生時代末期にかけて、多く見られる墓として、もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 甕棺墓 ② 土壙墓 ③ 箱式石棺墓 ④ 支石墓
⑤ 墳丘墓 ⑥ 再葬墓

(4) 遺跡Sに関連して、この場合想定される政治勢力の中心はどこか、もっとも適切なものを、次から1つ選びなさい。

- ① 邪馬台国 ② 出雲 ③ 三輪 ④ 河内 ⑤ 飛鳥
⑥ 橿原

2 次の史料は『神皇正統記』の一節であるが、これについて、下記の問いに答えなさい。

さても其世の乱を思に、まことに末の世にはまよふ心もありぬべく、又下の上をしのぐ端ともなりぬべし。そのいはれをよくわきまへらるべき事にはべり。(あ)勲功は昔よりたぐひなき程なれど、ひとへに天下を掌に^{たなごころ}せしかば、君としてやすからずおぼしめしけるもことほりなり。況や其跡たえて(い)の尼公、陪臣^{みだれ}の(う)が世になりぬれば、^{かの}彼跡をけづりて御心のまゝにせらるべしと云も一往いゝなきにあらず。しかれど(a) ・(b) の御代比より政道のふるきすがたやうやうおとろへ、(c) の御時⁽¹⁾兵革⁽²⁾おこりて奸臣世をみだる。天下の民ほとんど塗炭におちにき。(お)一臂⁽³⁾をふるひて其乱をたいらげたり。王室はふるきにかへるまでなかりしかど、九重の塵⁽⁴⁾もおさまり、萬民の肩もやすまりぬ。上下堵をやすくし、東より西より其徳に伏せしかば、(か)なくなりてもそむく者ありとは聞えず。是にまさる程の徳政⁽⁵⁾なくしていかでたやすくくつがへさるべき。縦又うしなはれぬべくとも、民やすかるまじくは、上天よもくみし給はじ。次に王者の軍と云は、とがあるを討じて、きずなをばほろぼさず。(き)高官⁽⁴⁾にのぼり、守護の職を給、これみな(く)の勅裁也。わたしにぬすめりとはさだめがたし。(け)その跡をはからひ、(こ)久く彼が権⁽⁵⁾をとりて、人望にそむかざりしかば、下にはいまだきず有といふべからず。一往のいはればかりにて追討せられんは、(d) の御とがとや申べき。謀叛おこしたる朝敵の利を得たるには比量せられがたし。かゝれば時のいたらず。天のゆるさぬことはうたがひなし。但し下の上を剋するはきはめたる非道なり。終にはなどか皇化に不^{まつろはざる}順^{まず}べき。先まことの徳政をおこなはれ、朝威をたて、彼を剋するばかりの道ありて、その上のことぞおほえはべる。且は世の治乱のすがたをよくかゝみしらせ給て、私の御心なくば干戈をうごかさるゝ歎、弓矢をおさめらるゝ歎、天の命にまかせ、人の望にしたがはせ給べかりしことにや。

(※掌に；思うままに支配する、陪臣；家礼の家礼、九重の塵；都を中心とした戦塵、徳政；善政)

問1 史料中の空欄(あ)～(さ)に当てはまるもっとも適切な人物を次から1つずつ選びなさい。なお、同じ選択肢を何回選んでもよい。

- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| ① 後三条天皇 | ② 卿二位 | ③ 源実朝 | ④ 後醍醐天皇 |
| ⑤ 後鳥羽上皇 | ⑥ 足利義満 | ⑦ 平清盛 | ⑧ 北条義時 |
| ⑨ 崇徳上皇 | ⑩ 丹後局 | ⑪ 源頼朝 | ⑫ 後白河法皇 |
| ⑬ 足利尊氏 | ⑭ 北条高時 | ⑮ 日野富子 | ⑯ 平将門 |
| ⑰ 後白河天皇 | ⑱ 北条政子 | ⑲ 足利義政 | ⑳ 北条泰時 |

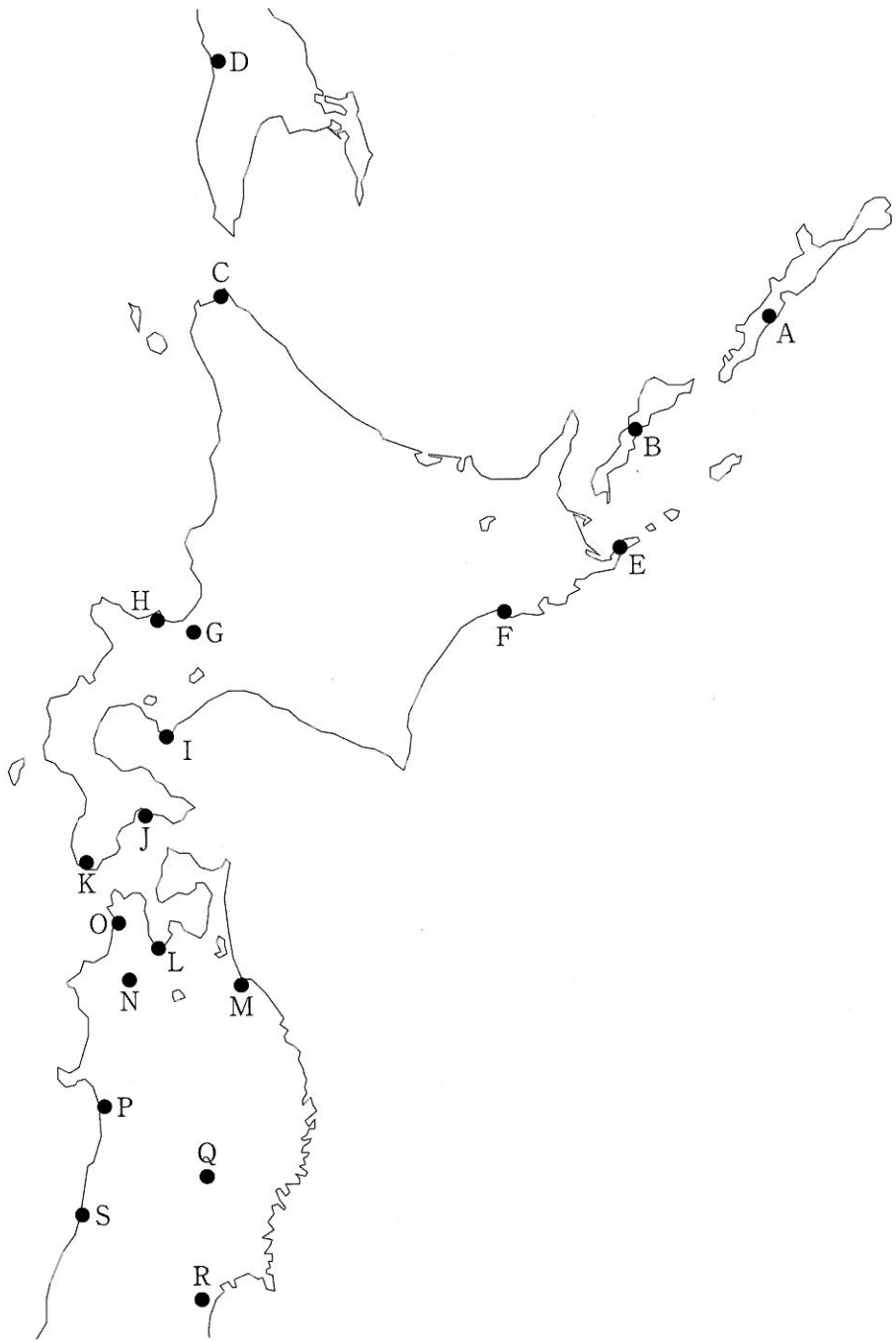
問2 史料中の囲み線部(a)～(d)の人物ともっとも関係の深い事柄を次から1つずつ選びなさい。

- ① 宣旨柙を定めて、計量の単位を統一した。
- ② 院に北面の武士をおいた。
- ③ 多くの荘園群を持仏堂である長講堂に寄進した。
- ④ 記録荘園券契所を設置した。
- ⑤ 平忠盛を院庁別当に任じた。
- ⑥ 大江匡房を登用して国政の改革に取り組んだ。
- ⑦ 沿海州地方に住む女真人が九州北部を襲撃した。
- ⑧ 皇族将軍が実現した。
- ⑨ 尾張国の郡司・百姓らが国司の悪政を訴えた。
- ⑩ 公家一統が実現した。
- ⑪ 兵庫大輪田泊を築造した。
- ⑫ 平安京の京極に法成寺を建立した。
- ⑬ 雑訴決断所を設置した。
- ⑭ 院に西面の武士をおいた。
- ⑮ 幕府の制度にならって院評定制を定めた。

問3 史料中の下線部(1)～(5)にもっとも関係の深い事柄を次から1つずつ選びなさい。

- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| ① 宝治合戦 | ② 外記政 | ③ 太政大臣 | ④ 天皇親政 |
| ⑤ 執権政治 | ⑥ 知行国制 | ⑦ 右大臣 | ⑧ 保元の乱 |
| ⑨ 朝政 | ⑩ 將軍専制 | ⑪ 三管四職 | ⑫ 得宗専制 |
| ⑬ 後三年の役 | ⑭ 国守 | ⑮ 左大臣 | ⑯ 比企氏の乱 |
| ⑰ 侍所 | ⑱ 院政 | ⑲ 右近衛大将 | ⑳ 院近臣 |

3



次に掲げるのは、東北、北海道地域の歴史の問題と、江戸時代の文化、学術に関する問題である。

問1 次の1～9の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

- 1 1811年、(ア)は世界周航の途次、(イ)で(ウ)奉行支配下の南部藩士に捕えられ、(エ)(ウ)に監禁された。この時の体験をまとめたのが『日本幽囚記』である。
- 2 (オ)城下で町医者を営んだ(カ)は、医学・本草学・儒教・仏教などに通じ、声望を得ていた。封建的な制度を鋭く批判し、身分制を否定してみずから耕作して平等に生きることを説いた『自然真営道』を著した。
- 3 戦国期の「廻船式目」に全国七湊の一つに挙がっている(キ)は、蝦夷地と日本海海運の結節点として発達した。(キ)を支配したのは(ク)であり、北条義時の代官として派遣され「蝦夷管領」の職に就いたと考えられている。
- 4 律令国家への編入に抵抗する蝦夷の反乱がたびたび起こったため、797年、(ケ)の命によって坂上田村麻呂は征夷大將軍となり、蝦夷の族長(コ)を降伏させた。そして802年には、鎮守府を(サ)から(シ)に移した。
- 5 (ス)藩主佐竹義和は天明の飢饉後、藩政を家老の疋田定常等に任せ、改革を行った。各種の産業や、それらの基礎となる学問が奨励され、藩校(セ)を設立して人材を養成した。
- 6 1854年、幕府は日米和親条約を結び、アメリカ船への燃料や食糧等を供給するため、下田・(エ)の二港を開くことが取り決められた。
- 7 (ソ)遺跡は、縄文時代と平安時代の集落跡、中世の城館跡等からなる複合遺跡で、特に縄文時代に関しては、前期から中期にかけての最大規模の集落跡であり、掘立柱建物約100棟、竪穴住居約500軒等が発掘された。

8 1792年、(タ)に來航したロシア船によって、漂流民としてペテルスブルクで(チ)に謁見した大黒屋光太夫等が帰還した。(ツ)は、大黒屋光太夫からロシア事情を聴きとり、『北槎聞略』を著した。

9 福山藩ともいわれる(ウ)藩は、(テ)年(ト)からアイヌ交易の独占権を認められた。上級家臣に知行としてアイヌとの交易権を分与する商場知行制をとった。

(1) 空欄(ア)に当てはまるもっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① ゴローニン ② ラクスマン ③ ジョセフ=ヒコ
④ プチャーチン ⑤ ビッドル ⑥ レザノフ

(2) 空欄(イ)に当てはまる地域はどこか。地図上のもっとも適切な地域を、次から1つ選びなさい。

- ① A ② B ③ D ④ E ⑤ F ⑥ J

(3) 空欄(ウ)に当てはまる地域はどこか。地図上のもっとも適切な地域を、次から1つ選びなさい。

- ① C ② G ③ I ④ J ⑤ K ⑥ M

(4) 空欄(エ)に当てはまる地域はどこか。地図上のもっとも適切な地域を、次から1つ選びなさい。

- ① E ② F ③ H ④ J ⑤ K ⑥ L

(5) 空欄(オ)に当てはまる地域はどこか。地図上のもっとも適切な地域を、次から1つ選びなさい。

- ① K ② L ③ M ④ N ⑤ P ⑥ S

(6) 空欄(カ)に当てはまるもっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 三浦梅園 ② 山片蟠桃 ③ 富永仲基 ④ 安藤昌益
⑤ 大槻玄沢 ⑥ 前野良沢

(7) 空欄(キ)に当てはまる地域はどこか。地図上のもっとも適切な地域を、次から1つ選びなさい。

- ① C ② H ③ K ④ O ⑤ P ⑥ S

(8) 空欄(ク)に当てはまるもっとも適切な語を、次から1つ選びなさい。

- ① 安藤氏 ② 阿部氏 ③ 松前氏 ④ 秋田氏 ⑤ 蠣崎氏
⑥ 南部氏

(9) 空欄(ケ)に当てはまるもっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 聖武天皇 ② 孝謙天皇 ③ 桓武天皇 ④ 嵯峨天皇
⑤ 光仁天皇 ⑥ 平城天皇

(10) 空欄(コ)に当てはまるもっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 伊治咎麻呂 ② シャクシャイン ③ コシャマイン
④ 文室綿麻呂 ⑤ 阿弭流為 ⑥ 大伴乙麻呂

(11) 空欄(サ)(シ)に当てはまる地域はそれぞれどこか。地図上のもっとも適切な地域の組み合わせを、次から1つ選びなさい。

- ① サ-S シ-O ② サ-S シ-P ③ サ-S シ-Q
④ サ-R シ-M ⑤ サ-R シ-Q ⑥ サ-R シ-S

(12) 空欄(ス)に当てはまる地域はどこか。地図上のもっとも適切な地域を、次から1つ選びなさい。

- ① R ② S ③ P ④ Q ⑤ M ⑥ N

(13) 空欄(セ)に当てはまるもっとも適切な語を、次から1つ選びなさい。

- ① 日進館 ② 養賢堂 ③ 弘道館 ④ 致道館 ⑤ 造士館
⑥ 明德館

(14) 空欄(ソ)に当てはまる地域はどこか。地図上のもっとも適切な地域を、次から1つ選びなさい。

- ① I ② K ③ L ④ M ⑤ N ⑥ P

(15) 空欄(タ)に当てはまる地域はどこか。地図上のもっとも適切な地域を、次から1つ選びなさい。

- ① B ② C ③ E ④ F ⑤ H ⑥ K

(16) 空欄(チ)に当てはまるもっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① アレクサンドル1世 ② アレクサンドル2世
③ エカチェリーナ2世 ④ エリザベータ
⑤ ニコライ1世 ⑥ ニコライ2世

(17) 空欄(ツ)に当てはまるもっとも適切な人名を、次から1つ選びなさい。

- ① 宇田川玄随 ② 西川如見 ③ 中川淳庵 ④ 塙保己一
⑤ 志筑忠雄 ⑥ 桂川甫周

(18) 空欄(テ)と(ト)にそれぞれ当てはまる年と人物の、もっとも適切な組み合わせを、次から1つ選びなさい。

- ① テ-1593 ト-豊臣秀吉 ② テ-1593 ト-後水尾天皇
③ テ-1593 ト-正親町天皇 ④ テ-1604 ト-伊達政宗
⑤ テ-1604 ト-徳川家康 ⑥ テ-1604 ト-徳川秀忠

問2 次の(1)~(7)の、アとイの文で、正誤の組み合わせとして正しいものを、①~④から1つ選びなさい。

- ① ア-正 イ-正 ② ア-正 イ-誤
③ ア-誤 イ-正 ④ ア-誤 イ-誤

(1) ア 井原西鶴は、浮世草子『好色一代男』を著した。

イ 竹本義太夫は、江戸に竹本座を開き、近松門左衛門の『曾根崎心中』を上演した。

(2) ア 新井白石は、木下順庵門下で、徳川家宣の將軍就任で重用された。

イ 雨森芳洲は、木下順庵門下で、対馬藩に仕えて朝鮮との外交をになった。

(3) ア 俵屋宗達は、金地の大画面に『風神雷神図屏風』を描いた。

イ 桂離宮は、主に権現造の書院建築群と回遊式庭園からなっている。

(4) ア 江戸の名所旧跡を紹介した『名所図会』の類は、江戸時代初期に多く刊行された。

イ 『富嶽三十六景』は、安藤広重の手になる一連の風景版画である。

- (5) ア 慶長の役で捕虜となった姜沆は、伊藤仁斎らの古学派に大きな影響を与えた。
イ 柴野栗山、尾藤二洲、岡田寒泉の三人の朱子学者を寛政の三博士という。
- (6) ア 緒方洪庵は、大坂で蘭医を開業、適塾を開いて福沢諭吉らを育てた。
イ オランダ人シーボルトは、医学塾の鳴滝塾を長崎に開き、高野長英らを育てた。
- (7) ア 松坂の医者本居宣長は、自宅鈴の屋で国学を教え、『国意考』など多くの著作を著した。
イ 伏見の神職荷田春満は、江戸に出て『創学校啓』を徳川吉宗に献上した。

4 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

〈I〉は、1826年、医者の長男として、アメリカで生まれた。先祖はかつてイギリスから渡った清教徒(ピューリタン)の一員であり、〈I〉が鉱物学を学んだ母校もピューリタン精神に基づいて設立された大学である。この大学で学んだ日本人には、函館から密航してアメリカに渡り、のちに京都で私立学校を創設した(ア)や、〈I〉の滞日時代の教え子たちに感化されて洗礼を受け、のちに不敬事件(a)を引き起こした(イ)がいる。1876(明治9)年、〈I〉は、(A)の招請を受け、日本を訪れた。ときあたかも(B)が開校し、その教頭として着任するためであったが、母国ではなお州立大学の学長を務めていたため、当地にはわずか8ヶ月余りの滞在しか許されなかった。とはいえ、附設の農場を学生の実習場とし、より实际的な学問を教授するとともに、キリスト教精神に基づく人間教育に心血を注いだ。〈I〉の影響を受けた(イ)らの信仰集団は、(C)なる名のもとに、日本におけるキリスト教発祥の一つとして数えられることになる。

〈Ⅱ〉は、1834年、ドイツで生まれた。長じて大学教授となり、国家学・経済学などを講じていたが、国内の政治情勢と大学内の事情に失望を覚え、1878(明治11)年、日本政府の招聘を受けることにした。その招聘には、ドイツ主義的な憲法を模範にしようとする政府上層部の意向が働いていた。現に、1881(明治14)年には、イギリス流の議院内閣制の早期導入を主張していた(ウ)が罷免され、翌82(明治15)年には、(エ)らが憲法調査のためヨーロッパに派遣され、ウィーン大学の(オ)らの教えを受けることになった。(エ)は、1885(明治18)年の内閣制度の創設とともに初代内閣総理大臣となる一方で、翌1886(明治19)年の秋頃から、のちに統帥権干犯問題などで重要な役割を果たすことになる(カ)らとともに憲法草案の起草に着手した。〈Ⅱ〉も、1887(明治20)年に「日本帝国憲法草案」を完成させ、この草案が(エ)らに多くの示唆を与えるところとなった。その起草作業が大日本帝国憲法として結実したこともあり、1893(明治26)年、帰国の途についたが、その時点では、よもや余命2年に満たないとは思ってはいなかった。

〈Ⅲ〉は、1876年、父の赴任地インドで生まれた。〈Ⅲ〉が最初に日本を訪れたのは、1932(昭和7)年2月のことであった。〈Ⅲ〉は、国際連盟のインド代表を務めたことがあったが、国際連盟理事会が派遣する調査団の団長に任ぜられたからである。その前年の9月、日本の関東軍は、参謀の(キ)を中心として、(D)郊外の(E)で南満州鉄道の線路が爆破されたことを理由に軍事行動を開始した。(ク)内閣はその不拡大方針を明らかにしたが、関東軍の行動を押しとどめることにはならなかった。このため、国際連盟加盟国は日本に対する不信を強め、日本の孤立状態は深まった。こうした事態を打開する方途として、日中両国における現地調査を行うことになったのであり、〈Ⅲ〉らの調査活動に対する期待は大きかった。しかし、訪れたばかりの日本では、この調査団を歓迎する主催者の一人であった財界人の(ケ)が、(コ)の率いる右翼によって暗殺されるなど、世間は騒然としていた。〈Ⅲ〉らの報告書は、日中両国の主張に配慮した妥協的な内容であったが、日本政府は、結局、国際連盟を脱退するに至った。それが、日本のよりいっそうの孤立化と軍国主義強化の契機となった。

〈Ⅳ〉は、1902年、アメリカで生まれた。大学では、法学・経済学を学び、財政学者としてつとに知られるところとなった。そんな〈Ⅳ〉が使節団長として日本を訪れたのは、1949(昭和24)年5月のことである。その当時の日本は、著しいインフレーションが進行しており、これを収束する必要に迫られていた。すでに3年ほど前には、(サ) 内閣が、貨幣流通量を減らそうとして(F) を発したが、その効果は一時的なものでしかなかった。そこで、連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)としても、日本の経済を復興・自立させるため、1948(昭和23)年12月、経済安定九原則の実行を指令し、その1ヶ月半後には、これを実施するために^(f)(シ) が来日したが、〈Ⅳ〉の訪日もまた、税制面からこれを補完することを期待されてのものであった。〈Ⅳ〉らの使節団は、来日後わずか3ヶ月余りの間に、税制改革に関する膨大な報告書をまとめあげた。そこには、(G) などを盛り込んだが、それらのほとんどが翌年度の税制に採用されるとともに、その後の日本の税制を基礎づけるものとなった。

問1 文章中の空欄(ア)～(シ)に入る人名としてもっとも適切なものを次から1つずつ選びなさい。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| ① 安部磯雄 | ② 石原莞爾 | ③ 伊藤博文 | ④ 伊東巳代治 |
| ⑤ 井上 毅 | ⑥ 井上準之助 | ⑦ 井上日召 | ⑧ 岩倉具視 |
| ⑨ 植木枝盛 | ⑩ 内村鑑三 | ⑪ 大隈重信 | ⑫ 金子堅太郎 |
| ⑬ グナイスト | ⑭ 斎藤 実 | ⑮ 幣原喜重郎 | ⑯ シュタイン |
| ⑰ 高橋是清 | ⑱ 団 琢磨 | ⑲ ドッジ | ⑳ ドレーパー |
| ㉑ 新島 襄 | ㉒ 新渡戸稻造 | ㉓ 橋本欣五郎 | ㉔ 浜口雄幸 |
| ㉕ 本庄 繁 | ㉖ 吉田 茂 | ㉗ 若槻礼次郎 | |

問2 文章中の空欄(A)～(G)に入る語句としてもっとも適切なものを次から1つずつ選びなさい。

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| ① 開拓使 | ② 外務省 | ③ 間接税中心主義 |
| ④ 金融機関再建整備法 | ⑤ 金融緊急措置令 | ⑥ 熊本バンド |
| ⑦ 熊本洋学校 | ⑧ 駒場農学校 | ⑨ 札幌農学校 |
| ⑩ 札幌バンド | ⑪ 積極財政 | ⑫ 徴税強化 |
| ⑬ 天津 | ⑭ 北京 | ⑮ 函館バンド |
| ⑯ 奉天 | ⑰ 文部省 | ⑱ 横浜バンド |
| ⑲ 柳条湖 | ⑳ 累進所得税制 | ㉑ 盧溝橋 |

問3 下線部(a)の説明として正しいものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① この事件では、皇室に対する不敬行為が問題とされたが、不敬罪は、1880(明治13)年の治罪法に規定されていた。
- ② この事件では、非戦論の立場から、日露戦争に対して批判的な姿勢を示したことが問題とされた。
- ③ この事件では、天皇の署名のある教育勅語に最敬礼をしなかったことが問題とされた。
- ④ この事件では、みずからの信仰に従って、天皇の神格性を疑うような教育を行ったことが問題とされた。

問4 下線部(b)に関連して、司法省雇いとしてフランスから来日し、その後22年間滞在して法典編纂に貢献した法学者が著名であるが、この人物にかかわりのないものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 民法典論争を招いた。
- ② 条約改正にかかわる井上馨外相案を批判した。
- ③ 刑法、治罪法、商法を起草した。
- ④ 司法省法学校の講師を務めた。

問5 下線部(c)の説明として誤っているものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① この制度は、行政府の強化・能率化をはかるため、明治維新以後の中央政府機構として採用されてきた太政官制を廃止して導入された。
- ② この制度の発足にともない、宮中と府中の別を制度化するため、内大臣府が設置された。
- ③ この制度のもとの最初の内閣は、主に薩長出身の藩閥によって組織され、保安条例を制定して民権派を弾圧した。
- ④ この制度の確立により、宮中の事務にあたる宮内省は内閣の外に置かれ、宮内大臣には太政大臣の三条実美が任命された。

問6 下線部(d)にかかわる説明として誤っているものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① こうしたなかで成立した犬養毅内閣は、中国との直接交渉をめざしたが、その犬養自身、海軍青年将校の一団によって射殺されることになる。
- ② 関東軍は、満州の主要地域を占領し、清朝最後の皇帝溥儀を執政として、満州国の建国を宣言させた。
- ③ 満州における日本の軍事行動は、中国の排日運動を激化させ、上海でも日中両国軍が衝突した。
- ④ こうした動きと連動して、国内では急進的な国家改造運動が活発になり、この時期に刊行された『日本改造法案大綱』は右翼のバイブルとなった。

問7 下線部(e)にかかわる説明として正しいものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① 国際連盟脱退の理由は、日本が、国際連盟の臨時総会において、満州国の承認を撤回するよう求められたことにあった。
- ② この時期の日本全権団の代表であった松岡洋右外務大臣は、こののち、日独伊三国同盟の締結にたずさわることになる。
- ③ 国際連盟からの日本の脱退は、1933(昭和8)年3月に正式な通告がなされ、それが直ちに受理されたため、効力を発することになった。
- ④ 国際連盟の後身ともいいうる国際連合への日本の加盟が承認されたのは、サンフランシスコ平和条約調印と同じ日のことであった。

問8 下線部(f)の説明として正しいものはどれか。次から1つ選びなさい。

- ① この原則が公表されたのは、民主党の芦田均を首班とする中道連立内閣が昭和電工疑獄事件により総辞職する直前のことであった。
- ② この原則が打ち出されたのは、朝鮮半島における軍事的緊張にともない、アメリカ政府が対日占領政策を大きく転換したためであった。
- ③ この原則は、予算の均衡、徴税強化、賃金安定、物価統制などを内容とするもので、結果的に、財政支出には手をつけない予算が編成された。
- ④ この原則は、強いデフレ政策をもたらし、不況の深刻化、人員整理、中小企業の倒産をもたらすことにもなった。

